

# 議会だより 産山

第20号 令和5年2月号



■ 第15回臨時会(12月) 定例会	・	P 2～5
■ 第14回臨時会	・	P 5
■ 一般質問	・	P 6～10
■ 編集後記ほか	・	P11～12

## 産山で見られる山野の花 VIII

ラツムシウ (松虫草) 「ラツムシ科 ラツムシ属」

日本固有種で、北海道～九州に分布する越年草。山野の草原に自生する。

花期は8～10月で、花は頭状花序で、花の大きさは径4cmほど。

ラツムシが鳴く頃であることから「ラツムシウ」という名前が付いたといわれているが、花が咲き終わったあとの紡錘形のような果実が、松虫草(まつむし)と呼ばれる、巡礼僧が持つ鐘が似ていることから名が付かれたといふ説もある。

熊本県では、絶滅危惧Ⅱ類(MU)「絶滅の危険が増大している種」となっている。



# 令和4年12月定例会

令和4年第15回定例会が12月9日から13日まで開催され、報告議案1件、条例議案5件、同意議案1件、予算議案2件、その他議案1件の10議案を審議し、全会一致で可決しました。

## 令和4年度一般会計補正予算（第9号）

補正予算4,020万円が増額され、総額23億8,080万円に

ふるさと寄附金  
1,200万円増額

### ■ 主な歳入

○分担金及び負担金	48万円
○使用料及び手数料	△1万円
○国庫支出金	995万円
○県支出金	454万円
○寄附金	200万円
○繰入金	△39万円
○諸収入	983万円
○村債	380万円
歳入計	4,020万円

### ■ 主な歳出

○総務費	1,346万円
○民生費	226万円
○衛生費	45万円
○農林水産業費	119万円
○商工費	410万円
○土木費	933万円
○消防費	47万円
○教育費	46万円
○災害復旧費	388万円
○諸支出金	600万円
○予備費	△140万円
歳出計	4,020万円

(\*万円以下は、端数調整)

## 12月定例会（主な議決事項）

ふるさと納税寄附金返礼品費  
歳入1,200万円 歳出603万円



ふるさと納税は今年度からうぶやま未来ラボに業務の一部を委託し、返礼品の追加などが進んだ。その結果、寄附額が平成31年と比較して、約9倍に増加した。寄附金の歳入の繰入金と返礼品等事務費を今回計上した。

出産・子育て応援給付金  
120万円



安心して出産・子育てが出来る環境を整備するため、令和4年4月以降に出産された方に対して10万円を支給。(財源：国2/3、県1/6、村1/6)



## 道路新設改良費 933万円



村道片保菅生改良工事箇所

道路新設改良の委託費及び工事請負に伴い国が定める規格に適合させるため、事業費の増額分を追加。

## 宅地災害復旧費 388万円



山鹿地区宅地災害復旧箇所

熊本地震により被災した宅地の復旧事業について、3件の申請があったため、補助金を追加。県、村合せて85%補助（事業費の上限は1千万円まで）

## 令和4年度うぶやまーと事業特別会計補正予算（第2号）

### 補正予算323万円が増額され、総額2,328万円に

ふれあい  
センターに2月  
移転予定

補正の主な内容として、小さな拠点施設（ふれあいセンター）の整備が、資材等の入手が困難となったことにより工が遅れていました。それに伴い新店舗での運営時期が変更となったため、予算の変更や新店舗の備品（冷凍冷蔵庫、レジシステム、倉庫保管棚等）購入に伴う追加補正を行いました。

### 現在のうぶやまーと所在地からふれあいセンターへ



現在仮店舗として運営しているうぶやまーと



うぶやまーとが入店するふれあいセンター

## その他主な議案

### ○報告第7号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告

要旨 「株式会社うぶやま」の7月から9月の経営状況について、各種資材の高騰、台風14号による影響（宿泊キャンセルやヒゴタイ公園のコスモス等が倒れたことでの入園者の大幅な減少）で営業実績が思うようにながっていない旨の報告があった。

### ○議案第62号 熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更

要旨 本村が加盟している熊本県市町村総合事務組合のうち、菊地環境保全組合の退会に伴う変更。

### ○議案第63号 産山村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

要旨 熊本県後期高齢者医療連合の条例改正に伴う変更

### ○議案第64号 産山村職員の再任用に関する条例を廃止する条例

○議案第65号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

要旨 地方公務員法の一部改正に伴う本村職員の定年制度の改正（60歳定年から65歳定年への段階的引き上げ）

なお、令和5年に60歳を迎えるものから1年づつ定年が延長され、5年後には、65歳定年となる。



○議案第66号 産山村税条例の一部を改正する条例

要旨 国の法改正により、住宅ローン控除の適用期間延長や扶養親族申告規定の整備について改正

○議案第67号 産山村ふれあいセンターの設置及び管理運営に関する条例の制定

要旨 小さな拠点施設整備により設置された「産山村ふれあいセンター」の設置及び管理運営についての条例制定

○同意第 2号 産山村教育委員会委員の任命

要旨 教育委員の筑紫米子氏の任期が令和5年1月24日であり、後任として山鹿区の井明子氏が推薦された。

## 12月定例会質疑応答

**【問】** 米小型色彩選別機購入は、ふるさと納税の返礼品として米を識別するためと思うが機械は、どこに備え付けるのか。  
また、米はどこから購入するのか。

**【答】** フォームビレッジ産山に設置したいと考えている。また、米は、村内から購入する。

**【問】** 公民館の樹木の伐採費用について何々。

**【答】** 産山地区公民館の分は、周辺の雑木伐採を行い南部地区公民館の分は、電線の間

松の木が立っており簡単には伐採できない。

用を計上した。

**【問】** 歳入で台風被害建物共済として110万円が上がっているがこの内容は、

次に災害対策基金が今回50万5千円を繰り入れ、歳出で宅地災害に充当しているが災害

対策基金は大きな災害等に充てるよう基金を積立て充てる趣旨であったと記憶している。

はなかったのでは。

**【答】** 台風被害共済金として保育所修繕に30万円、観光施設に80万円が入ってきた。

災害対策基金は大きな災害があった時のため、積み立てると認識している。

今回、熊本地震により被災したところの復旧に該当すると考え、充当したものである。

### 補正予算か

**【問】** 県道別府一の宮線について南牧場への入口付近に町村界の標識があるが傾いている。県の管理と思うが対応をお願いしたい。

**【答】** 県に確認し対応したい。



県道別府一の宮線（通称やまなみハイウェイ）町村界付近

**【問】** ふるさと寄附金の事務を委託する法人として、「うぶやま未来ラボ」があるが、そのスタッフとして地域おこし協力隊が4名の。その中心スタッフ1名の任期が来年3月で終わる予定だが、新たなスタッフを公募して運営していくのか。それとも法人設立が1年目であり、基本アイトム数を増やしていきながら、かたちづくりのため、現在のスタッフで動くのか尋ねる。

**【答】** 地域おこし協力隊の任期は3年が基本だが、特別な事情により2年延長が可能。うぶやま未来ラボの体制についても事業内容や人員体制も含め、より検討が必要な時期だと考えている。



# 12月定例会上程議案

議案番号	議 案 名
報告第 7号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告（令和4年度第2四半期）について
議案第62号	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について
議案第63号	産山村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
議案第64号	産山村職員の再任用に関する条例を廃止する条例について
議案第65号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第66号	産山村税条例の一部を改正する条例について
議案第67号	産山村ふれあいセンターの設置及び管理運営に関する条例の制定について
議案第68号	令和4年度産山村一般会計歳入歳出補正予算（第9号）について
議案第69号	令和4年度うぶやまト事業特別会計歳入歳出補正予算（第2号）について
同意第 2号	産山村教育委員会委員の任命について

## 令和4年第14回臨時会

令和4年第14回臨時会を11月29日に開催し、条例議案2件、予算議案1件の3議案を審議し、全会一致で可決した。

### 令和4年度一般会計補正予算（8号）

補正予算1,571万円が増額され、総額23億4,060万円に

#### 主な補正予算

##### ○原油価格等高騰経済支援対策事業

要旨 ○コロナ禍にあってさらなるエネルギー価格高騰による村内飲食店への影響緩和及び事業継続に向けた取組の支援を目的に1事業所当たり15万円、特定事業所（阿蘇やまなみゴルフクラブ、㈱うぶやま、㈱九州産直市場）にそれぞれ45万円を支援（支援総額300万円 財源：国100%）  
○新型コロナウイルス感染症拡大等により物価高騰等の影響を受けている介護・障害福祉サービス事業者に対して、光熱費の価格高騰分の一部を支援（支援総額90万円 財源：国100%）

原油価格や物価高騰に伴う支援事業として  
総額4,443万円

##### ○物価高騰等生活支援対策事業

要旨 ○エネルギー・食料品価格等物価高騰に伴い、電気・ガスを含む負担を軽減するため、1世帯当たり、1.5万円を支援（事業費973万円 財源：国100%）

#### 主な議案

議案第59号 産山村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について  
議案第60号 産山村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

## 令和5年第1回臨時会

令和5年第1回臨時会を1月12日開催し、予算議案1件を審議し、全会一致で可決した。

### 令和4年度一般会計補正予算（10号）

補正予算1,500万円が増額され、総額23億9,580万円に

#### 主な補正予算

○ふるさと寄附金 1,500万円増額

ふるさと寄附金  
1,500万円を追加し  
総額4,801万円

要旨 ふるさと寄附金の12月の寄付額が2,386万円を記録し、それに伴う返礼品や事務費増額を行う





井 芳美  
議員



■花の温泉館、緑地等中央管理センターの今後の募集状況について

写真が添付され、今も稼働しているような写真が載っている。本当に募集する気はあるのか疑問に思う。

【村長】募集内容について問題があるのであれば、担当課で検討する。建物の管理については、使用していない状況の中で必要最低限のことはやる。

【議員】花の温泉館、緑地等中央管理センターの今後の募集状況について、ホームページだけではなく、新聞等への広告はないのか。

【村長】花の温泉館については、現在2件の現地案内等を行い、質問等を回答している。

また、緑地等中央管理センターは、12月5日から公募を行っている。現在、問合せはないが、この施設について以前から使用したいと来庁された企業があり、今回公募した内容をその企業には周知している。

新聞等の広告については、考えてはいない。

【議員】施設の管理については、劣化したところの修理はされておらずきれいにするという前向きな姿勢は全然見受けられない。

公募するのはいいが、6、7年前の

Q 休館施設維持管理の前向きな姿勢が見られない!!

A 必要最低限の管理を行っていく



休館中の緑地等中央管理センター



休館中の花の温泉館

■村のイメージキャラクターについて

【議員】産山村のキャラクター「うぶちゃん」について、身動きができないと言っている。

産山村には、うぶやま音頭、ヒゴタイ音頭、ヒゴタイの歌、うぶちゃん体操がある。新バージョンで2代目として、着ぐるみで動けるものを作成してはいかがか。

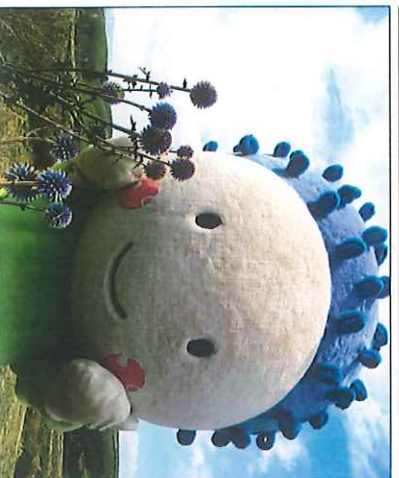
また、来年はカセサート校との交流が35周年になるので、子どもページも作ってはどうか。

【企画振興課長】うぶちゃんについては、平成22年の公募から選定され、翌年に着ぐるみのキャラクターとして誕生した。そのコンセプトが、原面をもとにヒゴタイをモチーフとした愛らし

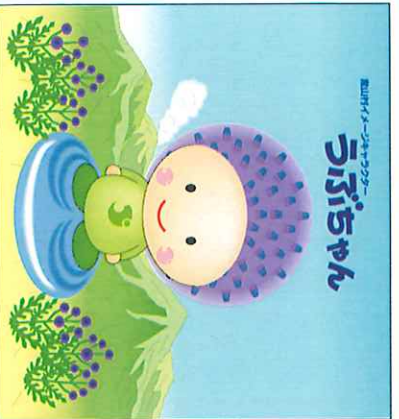
さであった。

全ての自治体で言えることだが、その半数は動きがたどたどしいゆるキャラであり、そこが魅力的なところであると思っている。

新しいうぶちゃんの着ぐるみを作成ということであるが、特に慎重な判断がいと考える。活動ができるうぶちゃんについては、機動性の確保の観点から、とても難しい課題と言えるが、現状のうぶちゃんを活用しながら、新しい視点で模索していきたい。



産山村イメージキャラクター「うぶちゃん」







城本俊成  
議員

## ■ クラウドファンディング

【議員】ヒコタイ公園に限定してクラウドファンディングを行い、日数、金額も少なく延長するかもしれないとの説明から月日が経つが、現在の状況は？

【企画振興課長】ヒコタイ公園キャンプ場の創造的復興支援プロジェクトとして、目標額の890万に対して35万円の寄附をいただいている。

案として、ミツバチの一種ナミルヒンバナバチ、通称「ブルービー」（幸せを運ぶ青い蜂）の生息維持も含めて、ブルービーが好むヒコタイ公園のヒコタイの花やミンハギの植え付けなどヒコタイ公園にとつて観光PRの一つになるような対策を検討している。

【議員】今後の使い方の案は分かったが、信号機もコンビニもない村の初挑戦ということで、クラウドファンディングに取り組んだのは去年。そして、結果的に27件35万円が集まった。しかし、ホームページ上からは、一切のクラウドファンディングに関する記載が消えている。今、こういう計画をし、おられますと言われても、結局1年間で放置した。このクラウドファンディングに協賛していただいた方々に対して、

## Q クラウドファンディングの実績報告すべきでは!!

### A 寄付いただいた方に信用してもらえよう対応する

何の効果も説明もせずに、今日に至っている。産山村に対して失望するのではないか。

【村長】クラウドファンディングをした6つの事業を自営にクラウドファンディングをし、応援いただいた方たちに報いるようしつかりと対応していきたい。

【議員】35万円をいかに有効に使うか。工事業は厳しいので、担当課長が言うように、ヒコタイ、ミンハギ、オミナエシの種・苗を植え、女性たちに関心の高いブルービーならば、安い費用で大きな効果が得られる。

キャンプ場の中に、ブルービーの花園や丘を指定し、時期にはいつ来ても見れるよう他町村以上のものを作る。

また、村虫にブルービーを指定してはどうかとの声も聞く。クラウドファンディングに対して、ホームページ上で、結果を出す旨の告知をするべきである。そうしないと寄付いただいた方達に申し訳がたない。

【企画振興課長】一つの村づくりの案として、またヒコタイ公園づくりのコンセプトとして、そういったブルービーを施していき。

「ミツバチ科の昆虫であるナミルヒンバナバチは、「ブルービー」の愛称を持ち、存在の希少性と鮮やかな青い紋様を持つ事から、「幸せを運ぶ青い蜂」と呼ばれています。

国内では本州、四国、九州に生息するようですが、地域によっては絶滅危惧種や準絶滅危惧種に指定されています。



【村長】寄附をいただいた方々に対して、ホームページも含め、対外的にも取り組んでいく。



## Q 自然環境に配慮した工事を!!

### A 今後、県と協議し検討を行う



井 春夫  
議員

#### ■自然環境保全

【議員】河川工事は人命や財産の保全を最優先にして実施しなければならぬが、一方、豊かな環境を保全するため、景観と水生生物を守る必要がある。

今年施工された山吹水源の治水工事は、川底のしゅんせつ、コンクリートブロックによる護岸工などが実施されているが、どういった自然環境に配慮したとは思えない工事であり、多くの方から落胆の声を聞いた。工事について県からの事前説明・協議はあったのか。

【村長】配慮については十分でなかったと思う。最終的に環境への配慮を考えた事業に取り組んだが、指摘をいただいたので、県と現在協議を進めている。

【議員】今後どう対応するか。

【村長】改善方法について、県と協議しながら検討を始めている。

【議員】山吹水源は、自然にマツチする工法で実施するよう認識してほしい。今後、治山・治水工事においては十分な検討と配慮を行うよう強く要請する。

【議員】山吹水源対岸の伐採箇所は、森林法上の保安林か。保安林ならば、解除要件である伐採後の植栽方法、樹種は。

【経済建設課長】水源涵養保安林で、県が指定する植林の本数で植林を実施する予定であるが樹種は、ヤマザクラ、コナラ、モミジなどを検討中である。

【議員】阿蘇ジオパークのジオサイトでもあり、村がきちんと対応しなければならぬ。この工事や開発がもたらす環境アセスメントは行ったのか。成などを通じて下流域との交流の場とすることを提案する。

#### ■希少植物保全

【議員】近年乱獲や盗採、外来種の持ち込み、地球温暖化、草原や里山の放置、無秩序な開発や工事で環境が悪化し、生物種の絶滅が危惧されているが、阿蘇でしか生きられない生物が多数ある。

村内の一例を挙げれば、●に生育するユキワリイチゲは保全が行き届かず絶滅の危機を迎えており、●に生育するオオイタサンシヨウウオは以前確認されていたが、現在不明である。(注：場所を明示すると乱獲等の恐れがある。紙面では●とし伏せる)

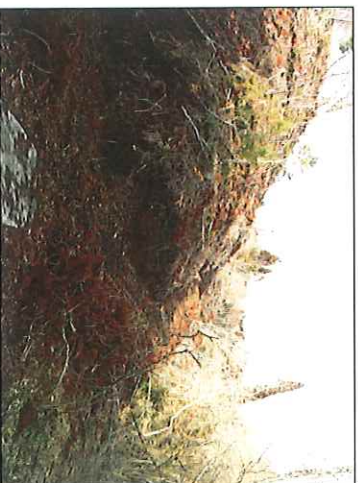
自然が大きな財産である村で、希少生物の保全対策に速やかに取り組まないと「信号機もコンビニもない村」「自然もない村」を加えることになり、村の生きる道はない。魅力ある村にするため希少生物の保全対策を、村としてどう取り組んでいくのか。

【村長】指摘の状況は事実だと思う。課題の多い部分であるが、指摘や提言について役場全体で取り組みたい。

【議員】自然環境・希少生物の保全対策は、産山村にとって地域活性化アイテム・地域ブランドイングとして重要であり、希少生物を後世に伝えるよう、教育現場も含め真剣かつ早急に対策を講じるよう提言する。



治山工事により整備された護岸



山吹水源下流右岸側の保安林は植林を行う予定



ユキワリイチゲ



大分サシヨウウオ



## Q 一般質問の意義 !!

### A 今後は丁寧な説明を行う



白石 巖  
議員

#### ■農業振興について

【議員】 去年の9月に村長へ農業振興の問題で質問した。(施設園芸の補助事業により建設した施設を村外へ移設しても問題ないか)

そのとき、法的には問題はないとの見解で、道義的責任はないかと尋ねたところ、道義的責任を感じ

じているが、最終的には家族として

つかり話すとのことであった。

そのとき、私はしっかり説明責任を果たしていただきたいと申し

上げた。

この件に関して進展があったと聞いた。これまでの経緯の説明を

求める。

【経済建設課長】 申請者の方から補助金の自主返納する申し出があり、当課で耐用年数の残存年数分について金額を伝えた。その後、昨年12月に申請者から補助金の自主返納があった。

【議員】 これまでの流れの中で、私は村長に説明をしてほしいと申し上げた。一年以上経っても、説明が何もない。道義的責任を感じているのであればそれに対して説明するべきだと思うがどうか。

【村長】 その点について、1年もそのことにお答えができなかったことについては、おわびを申し上げたい。

【議員】 一般質問は、質問したことに對して説明する責任があると思ふ。一般質問の意味というのは

議員が、行財政の自身を質問し、村民に村行政や財政の内容が「議会

会たより」などを通じて分かってもらえるという目的がある。その

ような目的が、何も説明がなければ、何も達成されない。

まして、村民は返納されたというときえ分かっていない状態だ。

以後、このようなことが起きた場合、はつきりしておかないと、

農業振興の問題は複雑な面もあるので、そのところをお願いしたい。

#### 産山村農業振興推進事業

産山村農業振興推進事業(村単独事業) は下記の内容について取組んでいます。

(目的) 産山村の農業振興を図るため農業振興推進事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付

事業名

① 土地利用型農業振興事業・・・ 水稻栽培に必要な施設の材料費及び機械器具の購入費

② 施設園芸振興事業・・・ 施設園芸作物栽培に必要な新規施設の材料費及び機械器具の購入費

③ 畜産振興事業・・・ 肉乳用牛飼養のための飼料作物栽培に必要な機械購入費(汎用機械は除く。)及び畜産の規模拡大に必要な部材、資材費

④ 鳥獣被害対策事業・・・ 農作物の鳥獣被害対策に必要な電気柵購入費及びびわな猟免許の取得に係る費用及びびわな購入費

\* 詳細については、経済建設課までお問い合わせ下さい。



農業推進事業により、設置された山鹿地区ビニールハウス





西村直樹  
議員

## Q 村のハラスメント防止策について!!

### A 職員が十分に能力を発揮できるよう適正に対応する

#### ■ハラスメント防止及び 役場職員の接遇について

【議員】昨今、ある町役場で上司が部下に対してハラスメントを行っていた、その上司は職を辞したという事で大きく報道された。

また、議員同士の暴言や暴力、保育園でも保育士による園児に対する虐待や教育現場での不適切な言動により子供たちの尊厳が脅かされ大きな問題にもなっている。

本村でも、役場庁舎内で上司が部下に対して叱責している場面に遭遇したと村民から聞き及んでいる。上司が部下に対して仕事の過ちを指摘するのは当然のことであるが、その方法が間違っているときもあるのではないと思う。そして、叱責されると、その職員は萎縮してしまい、今後の仕事に影響が出るのではないかと。また、住民にも不快感を与えるハラスメントの防止対策について考えを伺う。

【村長】ハラスメントとは、属性や人格に関する言動などによって相手に不快感や不利益を与え、尊厳を傷つけると基本的に認識をしている。ハラスメントは、人権侵害であり、

職場環境を悪化させ、作業効率の低下や人的損失が発生するなど組織に大きな損失を与える。指摘の真については、聞き及んでいるところである。まずは聞き取り等を通して、丁寧に、そして慎重に事実確認を行っていく必要があると考えており、事実であれば指導を行わなければならない。

私は、常に組織のリーダーとして職員が能力を十分発揮できるように職場環境を確保して、ハラスメント防止をすることともに、問題が発生した場合迅速かつ適正に対処していく。

【教育長】静岡県の保育士による園児への虐待行為と、子供たちの容姿を揶揄するような不適切な言動、教育現場における子供たちに対する暴言、あるいはわいせつ行為が報道され、私も胸を痛めている。

熊本県教育委員会が示している「懲戒処分の指針」では、「ハラスメントを行ったことにより、相手や強度の心的ストレスの重積による精神疾患に罹患させた職員は、免職、停職又は減給とする」とある。このように、懲戒処分の指針では明確にされていると本村でも、不祥事ゼロを目指して、

#### ハラスメントとは

ハラスメントにはさまざまな種類がありますが、共通するのは、相手に対する発言や行動によって、不快な気持ちにさせたり、脅威に感じさせたりすることです。ハラスメントを行っている当事者に「ハラスメントを行っている」という意識がなく、ハラスメントを受けている側も周囲になかなか言いだせない、というケースが多々見られます。

現在は、セクシャル・ハラスメント（セクハラ）やパワー・ハラスメント（パワハラ）、モラル・ハラスメント（モラハラ）、マタニティ・ハラスメント（マタハラ）、スモーク・ハラスメント（スモハラ）など、さまざまなハラスメントが問題となっています。

#### ■庁舎内の環境整備

【議員】役場庁舎内が暗くて、職員がいるか分からないかからないという状況が聞いている。庁舎内を散策してみると、役場が少し暗くて、行きづらく、窓口で相談がしづらい状況にあると思われる。また、パソコンのデスクトップが近年では大きくなり、ロビーから見ると職員が隠れてしまっている現状がある。職員から見ると来客が見えない状況であり、用事のある来客者にスムーズに対応できないのではなか。また、机上やキヤビネットの整理整頓ができていないことも不適切な接遇ではないか。

【村長】パソコンの種類、設置の場所、さらに机やキヤビネットの整理整頓により職場環境を整えるなど、役場全体で対策の取組をしていきながら、接遇で住民の信頼を損なわないように改善や職員研修を充実させていきたい。

【議員】役場職員の接遇が明るい職場づくりにつながり、住民をはじめ、来庁者に不快感を与えないように早急に取組んでいただきたい。

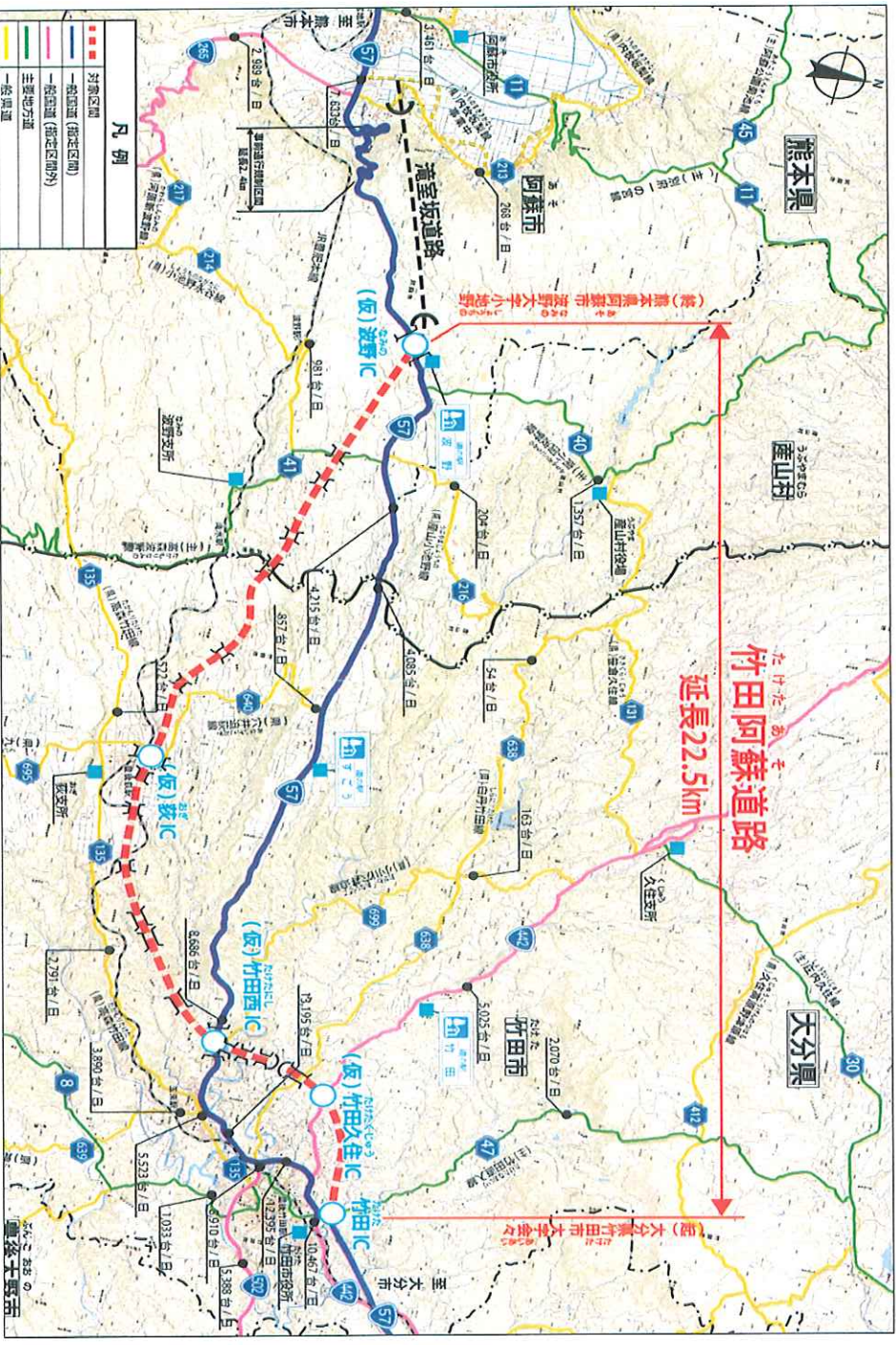




## 中九州横断道路竹田・阿蘇区間着工式

議会としても早期完成  
に向けて今後も陳情を行う

令和4年12月11日、竹田市において、中九州横断道路（竹田・阿蘇区間）の着工式が行われ、本村から議長及び村長が出席しました。中九州横断道路は、熊本と大分を結ぶ延長約120 kmの高規格道路で、今回竹田市から阿蘇市波野までの22.5 kmの区間が着工するものです。



## 阿蘇広域行政事務組合議会視察

令和4年11月14日から15日まで、阿蘇広域行政事務組合議会の視察研修が行われました。研修内容は、現在、阿蘇広域事務組合の懸案事項であるゴミ処理施設について、菊地環境保全組合（菊池市、合志市、大津町、菊陽町で組織）と佐賀市清掃工場を視察しました。



菊地環境保全組合  
自然環境との調和を図り、  
環境保全に万全を期した施設です。

## 阿蘇市町村正副議長研修

令和4年11月1日から2日まで、阿蘇市町村正副議長研修が行われました。研修先の大分県日出町については、議会運営と議会の活性化の取組について意見交換を行い、臼杵市については、城下町を生かしたまちづくりについて視察を行いました。



日出町との意見交換会風景



## 主な議会活動

月 日	内 容	場 所	参加者
11月1日～2日	阿蘇市町村正副議長研修会	大分県日出町 臼杵市	正副議長
11月9日～10日	全国議長会及び県関係国会議員への要望	東京都	議長
11月10日	阿蘇町村議会正副議長・事務局研修会	西原村	正副議長
11月14日～15日	阿蘇広域行政事務組合議会議員研修会	佐賀県	広域議員
11月15日	阿蘇郡監査委員臨時総会	高森町	監査委員
11月21日	例会監査	産山村	監査委員
11月22日	定期監査	産山村	監査委員
11月24日	熊本県町村広報委員研修会	益城町	広報委員
11月25日	阿蘇地域植樹祭	産山村	議長
11月29日	産山村自治功労者表彰式 第14回臨時会及び全員協議会 議会運営委員会	産山村	正副議長・常任委員長 全員 議会運営委員
12月2日	県庁阿蘇会総会	熊本市	議長
12月9日～13日	第15回12月定例会	産山村	議員全員
12月9日	全員協議会	産山村	議員全員
12月11日	中九州横断道路竹田阿蘇間着工式	竹田市	議長
12月18日～21日	ヒヨクタイ交流	タイ国	議長
12月21日	例会監査	産山村	監査委員
12月26日	阿蘇広域行政事務組合定例会	阿蘇市	広域議員
1月11日	阿蘇市町村議長会総会	阿蘇市	議長
1月12日	第1回臨時会及び全員協議会	産山村	議員全員
1月23日	例会監査	産山村	監査委員

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
 村民の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
 さて、私たち議員も本年4月をもって4年間の任期が満了します。議員の高齢化が進んでいますので、村の活性化の観点からぜひ若い人達に村政（議会活動）に携わっていただきたいと願うところです。  
 本年が皆様にとって飛躍の年でありますことを祈願申し上げます、令和5年最初の議会日より発行のご挨拶とさせていただきます。

### 広報特別委員会

委員長 岩下 芳美  
 委員 井 春夫

徳行 芳美

副委員長 井 城本

委員 城本 俊成

発行責任者 議長 西澤 正

編集 集行 産山村議会

発行 産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3  
 ☎0967-25-2635